

来月の消費予報

4月の消費意欲指数は44.8点で、過去10年間の同月最低値に。物価高の影響が再燃し、新年度に向けた意欲は高まりきらず

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20~69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。

※3月5-7日に調査(詳細はP5)

2026年4月の消費意欲指数は44.8点。前月比では+0.8ptとやや上昇し、前年比では-1.7ptと低下しました。

4月の消費意欲指数



【前月比】

+0.8 ポイント

【前年比】

-1.7 ポイント

■：前月比/前年比で上昇 ■：前月比/前年比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(4月)の消費意欲は何点くらいですか?」と質問。

カテゴリー別消費意向

【前月比】



【前年比】



★ UP：前月比/前年比で20人以上増加 ● DOWN：前月比/前年比で20人以上減少

「来月(4月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスがありますか?」という質問に「ある」と回答した人に、具体的に「買いたいモノ・利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月/前年と比較して作成。

4月のポイント

Point1 中東情勢悪化による物価高の影響で、消費意欲は男性を中心に前年比減

例年4月は、3月よりも新生活や新年度に向けて消費意欲がやや高まる月で、今年も前月比で+0.8ptとやや上昇しています。一方、前年比では-1.7ptと低下し、過去10年間の同月最低値となりました。前年比を男女別にみると、特に男性での低下が目立ちます(前年比男性:-2.6pt、女性:-0.8pt)。

消費意欲指数の理由(自由回答)をみると、前月と比べて消費にポジティブな回答(3月355件→4月336件)、ネガティブな回答(3月852件→4月837件)ともにやや減少しました。具体的には、ポジティブな回答で、「(新生活・新年度の準備/春物の服が欲しいなど)季節的な意欲向上(3月100件→4月149件)」が増加し、「(季節もの以外で)出費の予定・欲しいものがある(3月163件→4月121件)」が減少しています。ネガティブな回答では、「金銭的な理由で節約・我慢(3月209件→4月167件)」が減少しました。また、「物価高・値上げ・円安」は、前月比で大幅に増加しており(3月107件→4月152件)、特に男性での高まりが目立ちます(男性:3月55件→4月81件、女性:3月52件→4月71件)。さらに、中東情勢悪化や原油高騰への懸念など、「世界的社会不安(3月0件→4月16件)」も高まっており、注視する必要があります。

前年と比べると、消費にポジティブな回答(25年4月359件→26年4月336件)はやや減少し、ネガティブな回答(25年4月846件→26年4月837件)はほぼ横ばいとなっています。具体的には、ポジティブな回答、ネガティブな回答ともに目立って増減した項目はありませんが、男女別でみると、男性ではポジティブな回答で、「(季節もの以外で)出費の予定・欲しいものがある(男性:25年4月70件→26年4月41件、女性:25年4月68件→26年4月80件)」の減少が目立ちました。中東情勢の悪化などにより物価高の影響が再燃し、男性を中心に消費意欲は高まりきらないことが予想されます。

Point2 消費意向でも男性を中心に春らしいカテゴリーで前月比・前年比ともに減

「特に買いたいモノ・利用したいサービスがある」人の割合は26.9%で、前月比-2.1pt、前年比-2.4ptとともに低下しており、特に男性で大幅に低下しました(男性:前月比-3.8pt/前年比-6.4pt、女性:前月比-0.4pt/前年比+1.7pt)。

16カテゴリー別の消費意向をみると、前月比では「ファッション」「旅行」「理美容」など6カテゴリーで、前年比では「ファッション」「外食」「レジャー」など、5カテゴリーが20件以上減少しています。

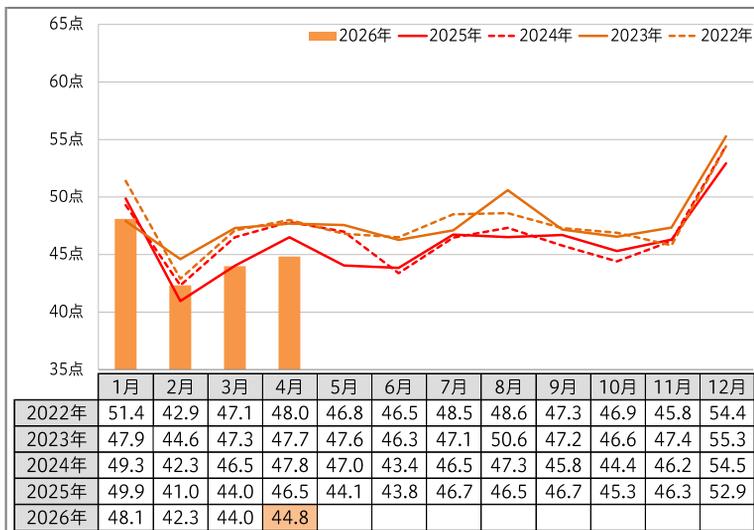
今年は、ファッションや外出関連を中心とした春らしいカテゴリーでも消費意向の落ち着いた4月となりそうです。

消費意欲指数

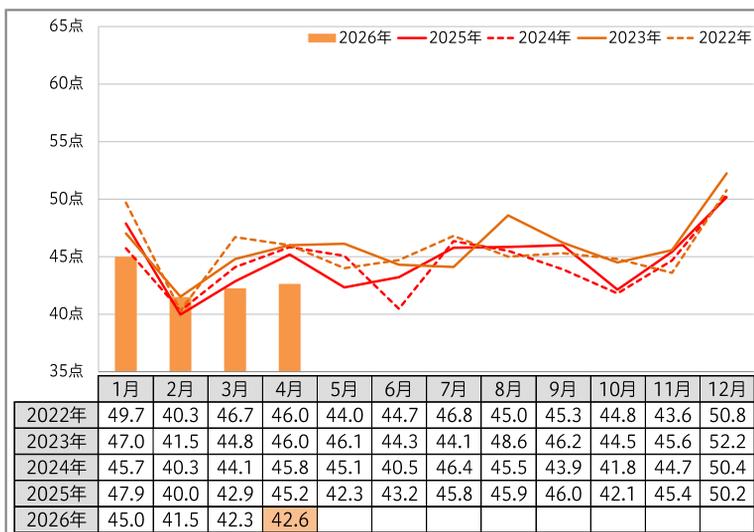
■ 時系列グラフ

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(4月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

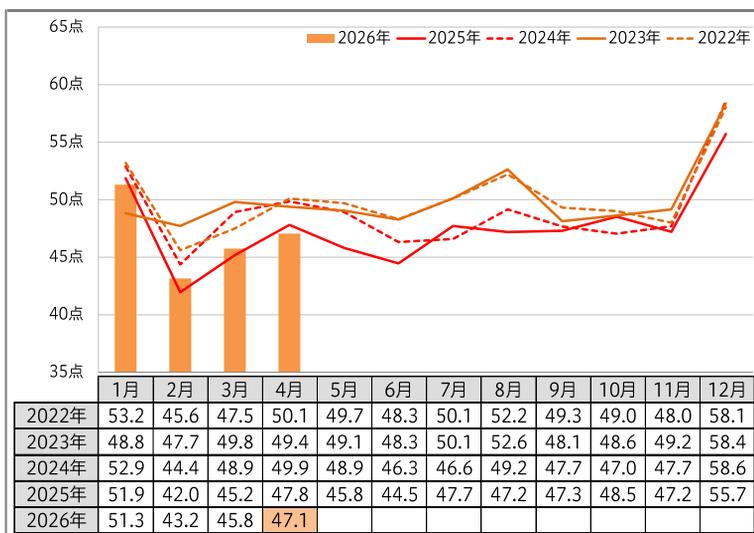
【全体】



【男性】



【女性】



消費意欲指数

■ 性別/年代別比較

(pt)

	(点)						26年4月比較	
	25年11月	25年12月	26年1月	26年2月	26年3月	26年4月	前月比	前年比
全体	46.3	52.9	48.1	42.3	44.0	44.8	+0.8	-1.7
男性	45.4	50.2	45.0	41.5	42.3	42.6	+0.4	-2.6
女性	47.2	55.7	51.3	43.2	45.8	47.1	+1.3	-0.8
20代	51.9	59.5	52.8	46.4	46.5	47.8	+1.2	-1.0
30代	47.9	54.9	50.6	43.6	44.6	47.5	+2.9	+0.4
40代	44.7	52.5	48.5	42.7	47.0	44.5	-2.6	-3.0
50代	43.2	49.9	44.2	40.2	41.1	42.0	+0.9	-1.1
60代	45.8	49.6	46.5	39.9	41.4	43.9	+2.5	-3.3

※調査では小数第2位まで集計していますが、本稿は小数第1位まで(小数第2位を四捨五入)を表示しているため、点数差は見た目の数値と異なる場合があります。

+3pt以上の増加

-3pt以上の減少

■ 消費意欲指数の理由(抜粋)

Q. (消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【(新生活・新年度の準備/春物の服が欲しいなど)季節的な意欲向上]>

- ・春夏の新作アイテムなどが発売されそうだから(70点・男性28歳・東京都)
- ・春で心機一転したいから(100点・男性35歳・東京都)
- ・新しい年度になり、旅行をしたり買い物をする意欲が高くなるため(80点・男性42歳・兵庫県)
- ・春となり気持ちが明るくなるから。新年度が開始するにあたり、色々な環境も変わり心機一転な生活が始まるから(70点・男性51歳・愛知県)
- ・季節が春になるので気分転換に服などを購入したいと思っている(80点・男性64歳・愛知県)
- ・新年度で季節が変わるため、洋服などを新調したいという気持ちが大きくなりそうだから(80点・女性29歳・神奈川県)
- ・春新学期、年度初めてで色々新調したいから(80点・女性34歳・兵庫県)
- ・春になるので、服やインテリアや新調したい気分が高まる(70点・女性45歳・愛知県)
- ・春という季節も意欲を掻き立てる。新しいスタート感が良いので、毎年3月や4月は出費が多いから(80点・女性50歳・埼玉県)
- ・暖かくなるので、春物の洋服を買いたい(70点・女性60歳・愛知県)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【物価高・値上げ・円安]>

- ・物価高がきつい(0点・男性27歳・神奈川県)
- ・物価が高く余裕がないと思うので(30点・男性37歳・大阪府)
- ・またまた値上げの春になりそうだから(0点・男性40歳・愛知県)
- ・中東情勢が非常に不安定な状態で今後の物価高騰が予想されるので、購買意欲が薄れている(15点・男性53歳・埼玉県)
- ・アメリカ、イスラエルとイランとの戦争により石油供給が止まり、あらゆる物が高値になりそうだから(30点・男性66歳・愛知県)
- ・物価高で節約しないといけないから(10点・女性29歳・兵庫県)
- ・戦争の影響で物価高になるから節約する(10点・女性34歳・東京都)
- ・イラン情勢もあり、色々と物価が上がりそうだから(30点・女性49歳・愛知県)
- ・何もかも高くてはつきりお金が足りないと感じるようになったので、もう買い物が怖い(5点・女性56歳・大阪府)
- ・物価も上がっているのに、年金はわずしかか増えない。節約一択(40点・女性69歳・東京都)

()内点数:消費意欲指数

特に買いたいモノ・サービス

■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q. あなたが来月(4月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2026年4月(%)	前月比(pt)	前年比(pt)
全体	26.9	-2.1	-2.4
男性	23.8	-3.8	-6.4
女性	30.0	-0.4	+1.7

■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q. 特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(403人)

参考:男性(180人)

参考:女性(223人)

順位	カテゴリー	4月(人数)	前月比	前年比
1	食品	193	+5	-18
2	ファッション	170	-48	-45
3	外食	156	-28	-32
3	旅行	156	-32	-9
5	飲料	127	-12	-23
6	書籍・エンタメ	119	-4	+11
7	化粧品	111	-28	+9
8	レジャー	94	-18	-28
9	家電・AV	93	+4	+5
10	日用品	89	-6	-3
11	理美容	86	-31	-17
12	スマートフォン・携帯電話	58	-14	-8
13	パソコン・タブレット・周辺機器	57	-10	+2
14	装飾品	52	-25	-17
15	インテリア用品	51	-9	-15
16	車・バイク	27	-14	-23

順位	カテゴリー	4月(人数)	前月比	前年比
1	食品	87	+7	-20
2	旅行	79	-21	-9
3	外食	66	-21	-18
4	飲料	65	±0	-22
5	ファッション	60	-27	-36
6	書籍・エンタメ	58	-4	-7
7	家電・AV	50	-4	-7
8	パソコン・タブレット・周辺機器	40	-5	-6
8	レジャー	40	-15	-22
10	スマートフォン・携帯電話	36	-7	-12
10	日用品	36	-6	-4
12	化粧品	26	±0	+8
13	車・バイク	20	-10	-21
13	インテリア用品	20	+1	-8
15	理美容	19	-17	-21
16	装飾品	18	-17	-17

順位	カテゴリー	4月(人数)	前月比	前年比
1	ファッション	110	-21	-9
2	食品	106	-2	+2
3	外食	90	-7	-14
4	化粧品	85	-28	+1
5	旅行	77	-11	±0
6	理美容	67	-14	+4
7	飲料	62	-12	-1
8	書籍・エンタメ	61	±0	+18
9	レジャー	54	-3	-6
10	日用品	53	±0	+1
11	家電・AV	43	+8	+12
12	装飾品	34	-8	±0
13	インテリア用品	31	-10	-7
14	スマートフォン・携帯電話	22	-7	+4
15	パソコン・タブレット・周辺機器	17	-5	+8
16	車・バイク	7	-4	-2

<全体にのみ下記基準で色付け>

※男女別ランキングは、母数が少ないため参考値

■:前月比/前年比で20人以上増加

■:前月比/前年比で20人以上減少

調査概要

■ 質問項目(質問文)

[消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(4月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

[特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(4月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

調査概要 生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。

調査地域 ①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏

調査対象者 20～69歳の男女

対象者割付 調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付

調査人数 合計1,500人

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	125	139	167	190	135	756
女性	123	134	163	188	136	744
合計	248	273	330	378	271	1,500

調査方法 インターネット調査

調査時期 2026年3月5日(木)～7日(土) (2012年5月から調査開始/毎月上旬に実査)

調査機関 QO株式会社

<備考>

・「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

問い合わせ先 博報堂生活総合研究所(加藤・近藤) seikatsusoken.info@hakuodo.co.jp
株式会社博報堂 広報室(成田・白川・大貫) koho.mail@hakuodo.co.jp

データ公開 2012年5月から最新月までの「消費意欲指数(点)」と「特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合(%)」について、調査データをご希望の方は生活総研サイトの「お問い合わせ」よりご連絡ください